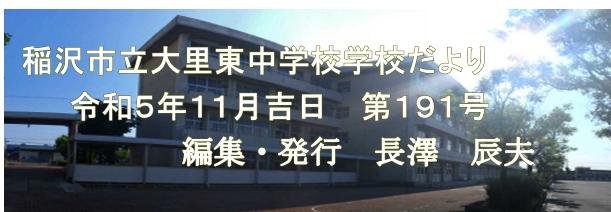


# やまもも

稲沢市立大里東中学校学校だより  
令和5年11月吉日 第191号  
編集・発行 長澤 辰夫



## 冬を感じさせる美しい言葉 「冬隣」

今年は、秋らしい感じも薄く、いきなり冬が訪れるのでしょうか。温暖化のせいか、年々、四季が感じられなくなってきているように思います。そんな中、「冬隣」という言葉を見つけました。冬が間近に迫った暮秋の気配を指す言葉です。「厳しく長い冬を前にしたはかなさ」と、「年末を控えたあわただしさ」、それに「寒く厳しい冬に対して身構える緊張感」など様々な思いのこもった言葉だといえます。季節に敏感な日本人ならではの言葉です。

## 地域の方を講師に職業講話を行いました！

2年生は夏に職場体験を行いました。その総括として講師の先生をお招きし、稲沢市で働くことの意義について11月10日（金）にお話をいただきました。

講師の先生は、学校運営協議会の委員の皆様で適任の方を探してください、大変ありがたかったです。講師の先生は校区の方ということで、とても親身になってお話をください、熱心にメモを取ったり、積極的に質問する生徒の姿がみられ、とてもよい会となりました。



## 学年レクで子どもたちの成長を感じました！

1年生の学年レクの様子を見ていました。先生方は見ているだけ！司会、レクの実施、表彰まですべて子どもたちで運営していました。4月当初、あどけなく幼さが感じられた子どもたちでしたが、しっかりと成長している姿に笑みを浮かべている自分がいました。よい光景でした。



## 落ち葉集めに感謝！

ありがたいことではありますが、本校は樹木が多く、毎年この時期は落ち葉に悩まされます。今年も駐車場の落ち葉を子どもたちが熱心に集めてくれています。

短い時間ですが、一生懸命取り組んでくれます。せっかくきれいにしても翌日には、また落ち葉がたまる！そんな毎日が続いていますが、笑顔で掃除をする子どもたちの姿は尊いものです。

